ＪＲ総連は たしろ かおる参議院議員を応援します

ＪＲ総連通信

レールウェイはヒューマンウェイ
実現！　ニッポンの安全確認

2014年9月2日　No.1125

全日本鉄道労働組合総連合会（ＪＲ総連）　http://www.jr-souren.com

ＪＲ総連第５回改憲反対学習会

暴走政治にNO！　一人ひとりが奮闘しよう！

ＪＲ総連は９月１日、目黒さつき会館大ホールにおいて第５回改憲反対学習会を開催し、ＪＲ総連加盟単組から90名を超える組合員が参加した。

第５回となる改憲反対学習会では、憲法学者であり９条連共同代表・国民安保法制懇委員もつとめる樋口陽一さんから『いま、憲法問題の焦点は―』と題して、講演をいただいた。講演は、終戦直後の１９４５年に伊藤万作氏（映画監督）が書いた「戦争責任者の問題」という文章の一節の紹介から始まった。

*「だますものだけでは戦争は起こらない。だますものとだまされるものがそろわなければ戦争は起こらないということになると、戦争の責任もまた（たとえ軽重の差はあるにしても）当然両方にあるものと考えるほかはないのである。・・・・・・『だまされていた』といって平気でいられる国民なら、おそらく今度も何度でもだまされるだろう。いや、現在でもすでに別のうそによってだまされ始めているに違いないのである」*という内容は、まさに安倍政権の暴走に対する現在の状況を考えさせられるものであった。

暴走政治をとめるために、一人ひとりが自分にとって大事なときに声を上げようと力強く訴え、９０分間にわたる講演は終了した。質疑を受けた後、武井委員長より「だまされない価値観をもとう。平和勢力の結集をはかるため、たしろ選挙をしっかり取り組もう」とお礼を述べ、第５回改憲反対学習会は終了した。